

『一生懸命』幻の新座市議会報告第119弾!



たかむらともや

2時間50分

6月議会の一般質問が終わりました。僕は最終日のトップだったのですが、9時半に始まった僕の質問が終わったのは12時20分。ナント2時間50分後のことでした。それは須田市長の答弁がきっかけでした。6月定例会の録画を見て確認してみました。「広報問題」を改めて見てみたのです。録画をよく見てみると、当時の議場の雰囲気伝わってきます。資料についての質問をただで、「そんなこと通告に書いてない!」と、たくさんの野次が聞こえます。(こんな質問で野次られたら、もっと突っ込んだ質問は今回は無理かな)と、別の質問にいけば、今度は「資料を要求しておいて質問しないのか!」と一般質問が終わってから、年下の議長に怒鳴られるのですから驚きました。議運でもその資料を出すことに猛反対した議員が複数いたのですが、その理由が全く分かりません。全戸配布をしている町内会はどこか、そんな資料のことで、議員が本気で怒る理由は为什么呢。町内会に入っていない僕にはさっぱり分からないことです。

本当の問題は広報を読めず、今回のプレミアム商品券についても知らない市民が大勢いるということです。一部の人だけが得をするシステムは直ぐに廃止しないといけません。町内会は毎回、広報を配布するのに、市民の税金から1部30円の補助金を貰っているのです。民間に頼めば、もっと安く全戸配布できるでしょう。税金を払っている同じ市民に対しての情報の不公平は許せません。



2015年7月31日発行



8月2日(日)に第17回「わいわい川遊び」が栗原1丁目公園前の黒目川で行われます! 詳しくは僕のHPから「川遊び」をクリックしてみてください。👉

たかやんのプロフィール



本名たかむらともや。
東京青山生まれ。新宿区立西戸山中学校、都立石神井高校卒。北海道大学3年生の時に、突然教師を目指す。新座五中・六中・二中で子ども達と勉強とテニスに燃える。「一生懸命」は年間244号書き続けた学級通信の名前。NHKの「おはよう広場」に尾木ママと一緒に出演。選挙前も選挙中も選挙後もこれからも”本当の無所属” 好きな言葉は「教育は愛だ!」「一生懸命」「一石二鳥」「継続は力なり」 好きな役者はハン・ヒョジュ、吉田羊、有村架純、佐々木蔵ノ介、佐藤健。

98年から「たかやん塾」塾長。

大好きなものはテニスと子どもたちの笑顔。大嫌いなものは「弱い者いじめ」「煙草の煙」「安倍政権」「集団的自衛権」「TPP」「消費税」「欲深いグローバル産業」「人相が悪く欲深い政治家達」「権力に媚を売る政治家とメディア」
身長175センチ、70キロ、体脂肪率17% 🤪

たかやんの応援団 で 検索

たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ 口約束

「254まで県がやるって言ってるんです！」「県知事がやると言ってるんですから、それを信じるんです！」と市長。254まで27m4車線でやると知事が言ったって、知事が代わったらどうする気なのでしょう。27mに対する反対の署名が6337筆も集まっているのです。市長と知事が約束してもできるとは限らないのです。現に東久留米・志木線は1人の反対で10年以上開通していません。保谷・朝霞線も地域住民が納得するような説明がない限り開通することはないでしょう。



そもそも、この36m道路。どこも実に空いているのです。この道路を毎週使っているのですが、行も帰りも空いています。特に、新座に帰る時は空いています。きっと、行き先が無いからでしょう。放射7号の整備も同時進行で進められていますが、もし254まで接続されたり、スマートインターチェンジで関越と繋がるようなことがあったら、大変な交通量になる可能性があります。地域を大きく分断し、五中の校庭を削るのですから、地域住民特に野寺小、五中の子ども達に与える影響は多大です。渋滞は工事期間が長くなればなる程、あちこちで起きるでしょう。

何年も地域を分断し、渋滞を我慢し、20年で100億以上かけたけど、結局、完成しなかった！それが一番怖いストーリーです。大型事業を同時に抱えて財政難の市は県から払い下げられる県道の莫大な維持費も考えないといけません。

東久留米・志木線は10億ちよつとが国の補助金で残りの金額は全て市が負担して建設中です。その53億があったら、新庁舎だって無理なく建設できていたでしょう。悔いの残る選択でした。

③ 懲らしめなくてはいけない！

気が付いたことがあります。どうやら、最近の出来事はみな繋がっているということです。

「郵政民営化」「消費税増税」「特定秘密保護法」「新派遣法」「安保関連法」「マイナンバー」「TPP」

どれもグローバル産業(アメリカは勿論、日本日本の大企業も)にとって有利なものばかりです。

郵政民営化を日本に要求したアメリカ政府には生保(アフラック)のロビー活動があったのでしょうか。

消費税増税はデフレ対策とは対極の政策です。これは政府の借金を減らすためでも、社会保障費に充てる訳でもなく、グローバル産業の法人税を下げる為の圧力があつたとみた方がよさそうです。「新派遣法」もグローバル産業には実に都合のいい法律ですし、TPPはその典型的なものです。国よりも企業が優先する、それがTPPの正体です。特定秘密保護法で国民に目隠しをし、安保関連法で戦争参加を可能にする。格差社会の米国を真似てマイナンバー制度を導入する。「在日米国商工会議所意見書」に書かれている通りに農協改革を推し進めようとしている安倍晋三。われわれが「懲らしめなくてはいけない！」のは新聞ではなく、安倍政権なのです。憲法の意味も分からない、憲法すら守れない政治家は存在してはいけないのです。今こそ、自民党をぶっ潰す時です。日本という国が安倍晋三に壊される前にぶっ潰しましょう！

③ 教育は愛だ！！

いじめによる自殺が止まりません。担任の先生と交換ノートをして、そこに愛がないと、子ども達は孤立してしまうのです。

”どんな子でも、決して独りにはしない！”そのことを先生たちには意識して欲しいです。子ども達に対する愛がないと、教師の言葉で子どもを孤立させてしまうこともあります。教師の表情や言葉がいじめの引き金になることすらあるのです。

「いじめは認識していなかった」という言い訳は、「私は教師として無能です」と言っているのと同じです。子ども達の服装や髪形に神経を尖らせるのではなく、表情や目の輝きに自然に目がいく教師が増えれば、いじめで死ぬ子はいなくなるでしょう。学校に先生の愛が溢れて欲しいものです。 ③

読み終わりましたら、お知り合いの方にさしあげてください m(_ _)m